

## 平成 17 年度 長崎大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

平成 17 年 2 月 25 日

- 教育・工学部は， $\boxed{1}$ ， $\boxed{3}$ ， $\boxed{5}$ ， $\boxed{6}$  数 II・III・B(120 分)
- 経済・水産・環境科学部は， $\boxed{2}$ ， $\boxed{5}$  数 II・B(80 分)
- 医学部は， $\boxed{1}$ ， $\boxed{4}$ ， $\boxed{6}$  数 II・III・B(100 分)
- 歯・薬学部は， $\boxed{1}$ ， $\boxed{2}$ ， $\boxed{3}$  数 II・III(100 分)

$\boxed{1}$  原点を  $O$ ，放物線  $C: y = x^2$  上の 2 点  $P(-2, 4)$ ， $Q(1, 1)$  を通る直線を  $l$ ，線分  $PQ$  を  $t: (1-t)$  に内分する点を  $R$  とする．ただし， $0 \leq t \leq 1$  とする．さらに  $l$  と  $y$  軸との交点を  $N$  とする．次の問いに答えよ．

- (1)  $l$  の方程式を求めよ．
- (2)  $R$  が第 1 象限に含まれるような  $t$  の値の範囲を求めよ．ただし，座標軸はどの象限にも含まれないものとする．
- (3)  $t$  の値が (2) で求めた範囲にあるとき， $\triangle ORN$  の面積を求めよ．
- (4)  $t$  の値が (2) で求めた範囲にあるとき， $C$ ，線分  $PR$  および線分  $OR$  で囲まれた図形の面積を  $S_1$  とし， $C$ ，線分  $RQ$  および線分  $OR$  で囲まれた図形の面積を  $S_2$  とする． $S_1, S_2$  を  $t$  で表せ．

$\boxed{2}$  円  $C: x^2 + y^2 = 1$  上の点  $P(-1, 0)$  を通る直線  $l: y = x + 1$  および  $C$  上の点  $Q(\cos \alpha, \sin \alpha)$  を考える．ただし， $0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$  とする． $Q$  における  $C$  の接線  $m$  と  $l$  との交点を  $R$  とする．次の問いに答えよ．

- (1)  $Q$  と  $R$  との距離が 1 以下となるような  $\alpha$  の値の範囲を求めよ．
- (2)  $Q$  と  $R$  との距離が 1 のとき， $l$  と  $m$  のなす鋭角  $\beta$  について， $\cos \beta$  の値を求めよ．

3  $x > 0$  で定義される関数  $f(x) = \frac{\log x}{x}$ ,  $g(x) = \frac{a}{x} + b$  を考える．ただし,  $a, b$  は定数とする．次の問いに答えよ．

- (1) 関数  $f(x)$  の増減を調べよ．
- (2) 原点を通り曲線  $y = f(x)$  に接する直線  $l$  の方程式と, その接点  $P$  の座標を求めよ．
- (3) 曲線  $y = g(x)$  が  $P$  において  $l$  に接するような  $a, b$  の値を求めよ．
- (4)  $a, b$  が (3) で求めた値のとき,  $0 < x < \sqrt{e}$  で  $g(x) > f(x)$  となることを示せ．さらに  $0 < x \leq \sqrt{e}$  と  $y \geq 0$  の範囲で, 2 曲線  $y = f(x)$ ,  $y = g(x)$  および  $x$  軸によって囲まれた図形の面積を求めよ．

4 楕円  $E: \frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$  ( $a > b > 0$ ) と,  $E$  上の点  $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$  ( $0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$ ) を考える． $P$  における  $E$  の接線を  $l_1$  とし, これに平行で  $E$  の反対側にある接線を  $l_2$  とする．さらに,  $l_1$  と直交する接線のうち,  $E$  の上側にあるものを  $m_1$ , 下側にあるものを  $m_2$  とする．また,  $m_1$  の接点を  $Q(a \cos \beta, b \sin \beta)$  とおく． $m_2$  と  $l_1$ ,  $l_1$  と  $m_1$ ,  $m_1$  と  $l_2$  および  $l_2$  と  $m_2$  の交点を, それぞれ,  $A, B, C$  および  $D$  とする．次の問いに答えよ．

- (1)  $l_1, l_2$  の方程式と辺  $AD$  の長さ  $L$  を  $\alpha$  で表せ．また  $m_1, m_2$  の方程式と辺  $AB$  の長さ  $M$  を  $\beta$  で表せ．
- (2)  $\alpha$  と  $\beta$  の関係を求めよ．
- (3)  $t = \tan^2 \alpha$  とおくととき, 長方形  $ABCD$  の面積  $S(t)$  を求めよ．
- (4)  $S(t)$  の最大値と最小値を求めよ．

5  $p, q, r$  を正の実数とし,  $p > r$  とする.

$$f(x) = x^3 - (2p+r)x^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)x - (p^2 + q^2)r$$

とするとき, 次の問いに答えよ.

- (1)  $f(r)$  を求めよ.
- (2)  $x$  についての 3 次方程式  $f(x) = 0$  の解を求めよ.
- (3) (2) で求めた解のうち, 絶対値が最小のものを  $z_1$ , 虚部が最小のものを  $z_2$  とする.  $\alpha = z_2 - z_1$  とし, 複素数平面上で点  $\alpha$  を原点の周りに  $\theta$  だけ回転した点を  $\beta$  とする.  $\alpha$  と  $\beta$  を求めよ.

《注》複素数  $a + bi$  ( $a, b$  は実数,  $i$  は虚数単位) に対し,  $b$  をこの複素数の虚部という.

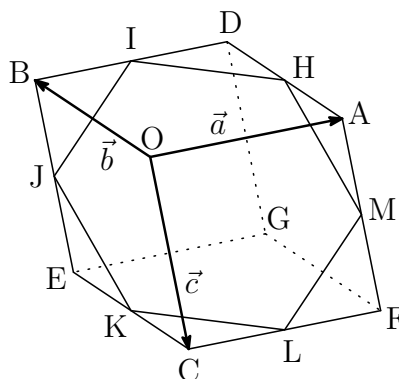
- (4)  $\beta$  が実数となるとき,  $\tan \theta$  を  $p, q, r$  で表せ.

6 空間における 3 つのベクトル  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  が次の条件を満たしているものとする.

$$|\vec{a}| = |\vec{b}| = |\vec{c}| = 1, \quad \vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a} = \cos \theta \quad (0^\circ < \theta < 120^\circ)$$

次に, 点  $O$  を始点とするベクトル  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}, \vec{a} + \vec{b}, \vec{b} + \vec{c}, \vec{c} + \vec{a}, \vec{a} + \vec{b} + \vec{c}$  の終点をそれぞれ,  $A, B, C, D, E, F, G$  とする. さらに, 線分  $AD, BD, BE, CE, CF, AF$  の中点を, それぞれ,  $H, I, J, K, L, M$  とする. 次の問いに答えよ.

- (1)  $\vec{u} = \vec{IH}, \vec{v} = \vec{IJ}$  とするとき,  $\vec{u}, \vec{v}$  を  $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$  で表せ.
- (2)  $H, I, J$  の定める平面を  $\alpha$  とする.  $K, L, M$  は  $\alpha$  上にあることを示せ.  
《注》 $P$  が  $\alpha$  上の点であるための必要十分条件は,  $\vec{IP} = s\vec{u} + t\vec{v}$  ( $s, t$  は実数) と表されることである.
- (3) 多角形  $HIJKLM$  は正六角形であることを示せ.



## 正解

1 (1)  $y = -x + 2$

(2)  $P(-2, 4)$ ,  $Q(1, 1)$  を  $t : (1-t)$  に内分する点  $R$  は

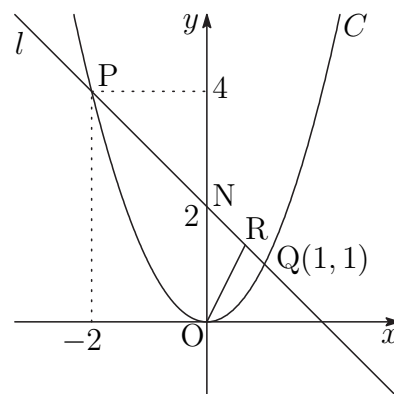
$$((1-t) \cdot (-2) + t \cdot 1, (1-t) \cdot 4 + t \cdot 1)$$

すなわち  $(3t - 2, -3t + 4)$

$R$  は第 1 象限にあるから

$$3t - 2 > 0, \quad -3t + 4 > 0$$

$$0 \leq t \leq 1 \text{ に注意して } \frac{2}{3} < t \leq 1$$



(3) (1), (2) の結果から,  $N$  の  $y$  座標は 2,  $R$  の  $x$  座標が  $3t - 2$  であるから

$$\triangle ORN = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot (3t - 2) = 3t - 2$$

(4) (3) の結果を用いて

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_{-2}^0 \{(-x + 2) - x^2\} dx + \triangle ORN \\ &= \left[ -\frac{x^3}{3} - \frac{x^2}{2} + 2x \right]_{-2}^0 + (3t - 2) = 3t + \frac{4}{3} \\ S_2 &= \int_0^1 \{(-x + 2) - x^2\} dx - \triangle ORN \\ &= \left[ -\frac{x^3}{3} - \frac{x^2}{2} + 2x \right]_0^1 - (3t - 2) = -3t + \frac{19}{6} \end{aligned}$$

(5)  $S_1 : S_2 = t : (1-t)$  であるから

$$\left(3t + \frac{4}{3}\right) : \left(-3t + \frac{19}{6}\right) = t : (1-t)$$

したがって  $\left(3t + \frac{4}{3}\right)(1-t) = t\left(-3t + \frac{19}{6}\right)$

$$0 \leq t \leq 1 \text{ に注意して, これを解くと } t = \frac{8}{9}$$

2 (1)

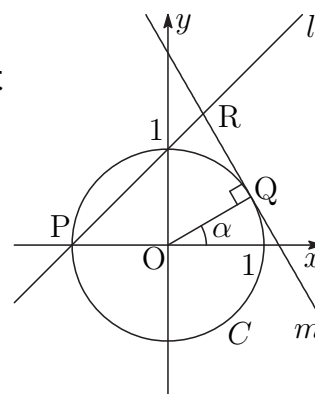
$$l: y = x + 1$$

$C$  の  $Q(\cos \alpha, \sin \alpha)$  における接線  $m$  の方程式は

$$x \cos \alpha + y \sin \alpha = 1$$

$l$  と  $m$  の交点  $R$  は

$$\left( \frac{1 - \sin \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}, \frac{1 + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \right)$$



したがって

$$\begin{aligned} \overrightarrow{QR} &= \left( \frac{1 - \sin \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}, \frac{1 + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \right) - (\cos \alpha, \sin \alpha) \\ &= \frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} (-\sin \alpha, \cos \alpha) \end{aligned}$$

$0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$  より,  $\frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \geq 0$  であるから

$$QR = \frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha}$$

$QR \leq 1$  であるから

$$\frac{1 - \sin \alpha + \cos \alpha}{\sin \alpha + \cos \alpha} \leq 1 \quad \text{ゆえに} \quad \sin \alpha \geq \frac{1}{2}$$

よって  $30^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$

(2)  $l, m$  と  $x$  軸のなす角は, それぞれ  $45^\circ, 60^\circ$  であるから,  $l$  と  $m$  のなす角は

$$45^\circ + 60^\circ = 105^\circ, \quad 180^\circ - 105^\circ = 75^\circ$$

したがって, 求める鋭角  $\beta$  は  $75^\circ$

$$\begin{aligned} \text{よって} \quad \cos \beta &= \cos(45^\circ + 30^\circ) \\ &= \cos 45^\circ \cos 30^\circ - \sin 45^\circ \sin 30^\circ \\ &= \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} - \frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{2} = \frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{4} \end{aligned}$$

$$\boxed{3} \quad (1) \quad f'(x) = \frac{1 - \log x}{x^2}$$

$y = f(x)$  の増減表は、次のようになる。

$x$	0	...	$e$	...
$f'(x)$		+	0	-
$f(x)$		↗	$\frac{1}{e}$	↘

(2)  $P\left(t, \frac{\log t}{t}\right)$  における接線の方程式は

$$y - \frac{\log t}{t} = \frac{1 - \log t}{t^2}(x - t) \quad \text{すなわち} \quad y = \frac{1 - \log t}{t^2}x + \frac{2 \log t - 1}{t}$$

この直線が原点を通ることから

$$\frac{2 \log t - 1}{t} = 0 \quad \text{これを解いて} \quad t = \sqrt{e}$$

$$\text{よって} \quad l: y = \frac{1}{2e}x, \quad P\left(\sqrt{e}, \frac{1}{2\sqrt{e}}\right)$$

(3)  $g(x) = \frac{a}{x} + b$  を微分すると  $g'(x) = -\frac{a}{x^2}$

$y = g(x)$  の  $P$  における接線が  $l$  に一致するから

$$g(\sqrt{e}) = \frac{1}{2\sqrt{e}}, \quad g'(\sqrt{e}) = \frac{1}{2e}$$

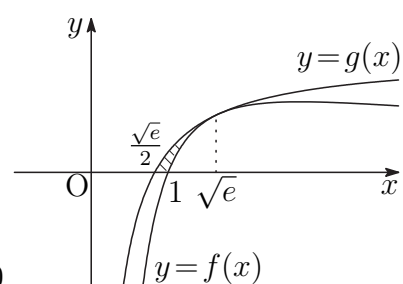
$$\text{したがって} \quad \frac{a}{\sqrt{e}} + b = \frac{1}{2\sqrt{e}}, \quad -\frac{a}{(\sqrt{e})^2} = \frac{1}{2e}$$

$$\text{よって} \quad a = -\frac{1}{2}, \quad b = \frac{1}{\sqrt{e}}$$

(4)  $h(x) = g(x) - f(x)$  とおくと

$$h(x) = -\frac{1}{2x} + \frac{1}{\sqrt{e}} - \frac{\log x}{x}$$

$$h'(x) = \frac{2 \log x - 1}{2x^2}$$



$0 < x < \sqrt{e}$  において  $h'(x) < 0$ ,  $h(\sqrt{e}) = 0$

したがって,  $0 < x < \sqrt{e}$  において,  $h(x) > 0$

よって,  $0 < x < \sqrt{e}$  において  $g(x) > f(x)$

求める面積を  $S$  とすると

$$S = \int_{\frac{\sqrt{e}}{2}}^{\sqrt{e}} \left( -\frac{1}{2x} + \frac{1}{\sqrt{e}} \right) dx - \int_1^{\sqrt{e}} \frac{\log x}{x} dx$$

$$= \left[ -\frac{1}{2} \log x + \frac{x}{\sqrt{e}} \right]_{\frac{\sqrt{e}}{2}}^{\sqrt{e}} - \left[ \frac{1}{2} (\log x)^2 \right]_1^{\sqrt{e}}$$

$$= \frac{3}{8} - \frac{1}{2} \log 2$$

4 (1)  $E$  の  $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$  における接線  $l_1$  の方程式は

$$\frac{(a \cos \alpha)x}{a^2} + \frac{(b \sin \alpha)y}{b^2} = 1 \quad \text{すなわち} \quad \frac{\cos \alpha}{a}x + \frac{\sin \alpha}{b}y = 1$$

$l_2$  は  $P$  と原点に関して対称な点における接線の方程式であるから

$$\frac{(-a \cos \alpha)x}{a^2} + \frac{(-b \sin \alpha)y}{b^2} = 1 \quad \text{すなわち} \quad \frac{\cos \alpha}{a}x + \frac{\sin \alpha}{b}y = -1$$

$L$  は  $P$  から  $l_2$  までの距離に等しいから

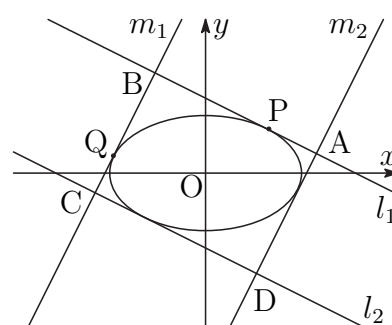
$$L = \frac{\left| \frac{\cos \alpha}{a} \cdot a \cos \alpha + \frac{\sin \alpha}{b} \cdot b \sin \alpha + 1 \right|}{\sqrt{\left(\frac{\cos \alpha}{a}\right)^2 + \left(\frac{\sin \alpha}{b}\right)^2}} = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha}}$$

$m_1, m_2$  および  $M$  は,  $l_1, l_2$  および  $L$  の  $\alpha$  を  $\beta$  にそれぞれ置き換えたものであるから

$$m_1: \frac{\cos \beta}{a}x + \frac{\sin \beta}{b}y = 1,$$

$$m_2: \frac{\cos \beta}{b}x + \frac{\sin \beta}{b}y = -1$$

$$M = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta}}$$



(2)  $l_1$  の法線ベクトル  $\left(\frac{\cos \alpha}{a}, \frac{\sin \alpha}{b}\right)$  と  $m_1$  の法線ベクトル  $\left(\frac{\cos \beta}{a}, \frac{\sin \beta}{b}\right)$  は垂直であるから

$$\frac{\cos \alpha}{a} \cdot \frac{\cos \beta}{a} + \frac{\sin \alpha}{b} \cdot \frac{\sin \beta}{b} = 0$$

よって  $b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta = 0$



(3) (1) の結果から

$$\begin{aligned} S(t) &= LM = \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha}} \cdot \frac{2ab}{\sqrt{b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta}} \\ &= \frac{4a^2 b^2}{\sqrt{(b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha)(b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta)}} \end{aligned}$$

(2) の結果により

$$\begin{aligned} &(b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha)(b^2 \cos^2 \beta + a^2 \sin^2 \beta) \\ &= (b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta)^2 + a^2 b^2 (\sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta)^2 \\ &= a^2 b^2 \sin^2(\beta - \alpha) \end{aligned}$$

P, Q の位置関係により,  $0 < \beta - \alpha < \pi$  であるから

$$S(t) = \frac{4a^2 b^2}{\sqrt{a^2 b^2 \sin^2(\beta - \alpha)}} = \frac{4ab}{\sin(\beta - \alpha)}$$

ここで、「 $\alpha = 0$ 」「 $\beta = \frac{\pi}{2}$ 」「 $t = 0$ 」が同値であることを示す.

$t = 0$  のとき,  $t = \tan^2 \alpha$  であるから,  $0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$  より  $\alpha = 0$

これを (2) の結果に代入すると  $b^2 \cos \beta = 0$  すなわち  $\beta = \frac{\pi}{2}$

逆に,  $\beta = \frac{\pi}{2}$  を (2) の結果に代入すると  $a^2 \sin \alpha = 0$

$0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$  であるから  $\alpha = 0$  このとき  $t = \tan^2 0 = 0$

(i)  $t = 0$  のとき,  $\alpha = 0$ ,  $\beta = \frac{\pi}{2}$  であるから

$$S(0) = \frac{4ab}{\sin\left(\frac{\pi}{2} - 0\right)} = 4ab$$

(ii)  $t > 0$  のとき,  $\beta \neq \frac{\pi}{2}$  であるから, (2) の結果により

$$\tan \alpha \tan \beta = -\frac{b^2}{a^2}, \quad \tan^2 \beta = \frac{b^4}{a^4 \tan^2 \alpha} = \frac{b^4}{a^4 t}$$

したがって

$$\begin{aligned} \tan(\beta - \alpha) &= \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 - \frac{b^2}{a^2}} \\ \tan^2(\beta - \alpha) &= \frac{\tan^2 \beta - 2 \tan \alpha \tan \beta + \tan^2 \alpha}{\left(1 - \frac{b^2}{a^2}\right)^2} \\ &= \frac{\frac{b^4}{a^4 t} + \frac{2b^2}{a^2} + t}{\left(1 - \frac{b^2}{a^2}\right)^2} = \frac{(a^2 t + b^2)^2}{(a^2 - b^2)^2 t} \end{aligned}$$

$$\frac{1}{\sin^2(\beta - \alpha)} = 1 + \frac{1}{\tan^2(\beta - \alpha)} = 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}$$

したがって  $S(t) = 4ab \sqrt{1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}}$

(i), (ii) から  $S(t) = 4ab \sqrt{1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2}}$

(4) (3) の結果から,  $t = 0$  のとき, 最小値  $4ab$  をとる.

また,  $t > 0$  であるから

$$\begin{aligned} 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t + b^2)^2} &= 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2 t}{(a^2 t - b^2)^2 + 4a^2 b^2 t} \\ &= 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2}{(a^2 t - b^2)^2 t^{-1} + 4a^2 b^2} \\ &\leq 1 + \frac{(a^2 - b^2)^2}{4a^2 b^2} = \frac{(a^2 + b^2)^2}{4a^2 b^2} \end{aligned}$$

上式において, 等号が成立するのは,  $t = \frac{b^2}{a^2}$  のときで, 最大値は

$$S\left(\frac{b^2}{a^2}\right) = 4ab \sqrt{\frac{(a^2 + b^2)^2}{4a^2 b^2}} = 2(a^2 + b^2)$$

## 解説

$Q(a \cos \beta, b \sin \beta)$  は,  $P(a \cos \alpha, b \sin \alpha)$  によって決定するので,  $\beta$  は  $\alpha$  の関数と考えてよい. したがって,  $f(\alpha) = \sin(\beta - \alpha)$  とおくと

$$f'(\alpha) = \cos(\beta - \alpha) \cdot \left( \frac{d\beta}{d\alpha} - 1 \right) \quad (1)$$

また, (2) で得られた  $\alpha$  と  $\beta$  の関係式

$$b^2 \cos \alpha \cos \beta + a^2 \sin \alpha \sin \beta = 0 \quad (2)$$

を  $\alpha$  で微分すると

$$-b^2 \left( \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta \cdot \frac{d\beta}{d\alpha} \right) + a^2 \left( \cos \alpha \sin \beta + \sin \alpha \cos \beta \cdot \frac{d\beta}{d\alpha} \right) = 0 \quad (3)$$

$f(\alpha)$  が極値をとるとき, (1) より

$$(i) \quad \beta = \alpha + \frac{\pi}{2} \quad \text{または} \quad (ii) \quad \frac{d\beta}{d\alpha} = 1$$

(i)  $\beta = \alpha + \frac{\pi}{2}$  を (2) に代入して整理すると

$$\frac{1}{2}(a^2 - b^2) \sin 2\alpha = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \alpha = 0, \quad \beta = \frac{\pi}{2}$$

$$\text{したがって} \quad f(0) = \sin\left(\frac{\pi}{2} - 0\right) = 1 \quad \text{よって} \quad \frac{4ab}{f(0)} = 4ab$$

(ii)  $\frac{d\beta}{d\alpha} = 1$  を (3) に代入して整理すると

$$(a^2 - b^2) \sin(\alpha + \beta) = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \beta = \pi - \alpha$$

これを (2) に代入して整理すると

$$-b^2 \cos^2 \alpha + a^2 \sin^2 \alpha = 0 \quad \text{ゆえに} \quad \tan \alpha = \frac{b}{a}, \quad \tan \beta = -\frac{b}{a}$$

$$\tan(\beta - \alpha) = \frac{\tan \beta - \tan \alpha}{1 + \tan \beta \tan \alpha} = -\frac{2ab}{a^2 - b^2}$$

$$\sin^2(\beta - \alpha) = \frac{\tan^2(\beta - \alpha)}{1 + \tan^2(\beta - \alpha)} = \frac{\left(-\frac{2ab}{a^2 - b^2}\right)^2}{1 + \left(-\frac{2ab}{a^2 - b^2}\right)^2} = \frac{4a^2b^2}{(a^2 + b^2)^2}$$

$$\sin(\beta - \alpha) > 0 \quad \text{であるから} \quad f(\alpha) = \frac{2ab}{a^2 + b^2} \quad \text{よって} \quad \frac{4ab}{f(\alpha)} = 2(a^2 + b^2)$$

5 (1)  $f(x) = x^3 - (2p + r)x^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)x - (p^2 + q^2)r$  より

$$f(r) = r^3 - (2p + r)r^2 + (p^2 + q^2 + 2pr)r - (p^2 + q^2)r = 0$$

(2) (1)の結果から,  $f(x)$  は  $x - r$  を因数にもつから,  $f(x) = 0$  は

$$(x - r)(x^2 - 2px + p^2 + q^2) = 0 \quad \text{これを解いて} \quad x = r, p \pm qi$$

(3)  $p > r$  より  $\sqrt{p^2 + q^2} > p > r > 0$  ゆえに  $|p \pm qi| > p > r > 0$

したがって  $z_1 = r, z_2 = p - qi$  よって  $\alpha = z_2 - z_1 = p - r - qi$

$$\begin{aligned} \text{また} \quad \beta &= \alpha(\cos \theta + i \sin \theta) \\ &= (p - r - qi)(\cos \theta + i \sin \theta) \\ &= (p - r) \cos \theta + q \sin \theta + \{(p - r) \sin \theta - q \cos \theta\}i \end{aligned}$$

(4)  $\beta$  が実数であるとき, (3)の結果から

$$(p - r) \sin \theta - q \cos \theta = 0 \quad \text{よって} \quad \tan \theta = \frac{q}{p - r}$$

$$\boxed{6} \quad (1) \quad \vec{u} = \frac{1}{2}\overrightarrow{BA} = \frac{1}{2}(\vec{a} - \vec{b}), \quad \vec{v} = \frac{1}{2}\overrightarrow{AC} = \frac{1}{2}(\vec{c} - \vec{a})$$

$$(2) \quad \overrightarrow{OI} = \frac{1}{2}\vec{a} + \vec{b}, \quad \overrightarrow{OK} = \frac{1}{2}\vec{b} + \vec{c},$$

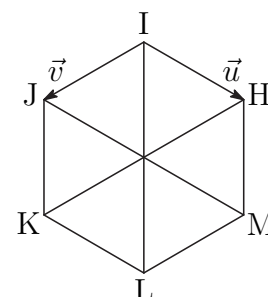
$$\overrightarrow{OL} = \frac{1}{2}\vec{a} + \vec{c}, \quad \overrightarrow{OM} = \vec{a} + \frac{1}{2}\vec{c}$$

したがって

$$\overrightarrow{IK} = \overrightarrow{OK} - \overrightarrow{OI} = -\frac{1}{2}\vec{a} - \frac{1}{2}\vec{b} + \vec{c} = \vec{u} + 2\vec{v}$$

$$\overrightarrow{IL} = \overrightarrow{OL} - \overrightarrow{OI} = \vec{c} - \vec{b} = 2\vec{u} + 2\vec{v}$$

$$\overrightarrow{IM} = \overrightarrow{OM} - \overrightarrow{OI} = \frac{1}{2}\vec{a} - \vec{b} + \frac{1}{2}\vec{c} = 2\vec{u} + \vec{v}$$



よって, K, L, M は  $\alpha$  上にある.

(3)

$$\overrightarrow{HI} = -\vec{u}$$

$$\overrightarrow{IJ} = \vec{v}$$

$$\overrightarrow{JK} = \vec{u} + \vec{v}$$

$$\overrightarrow{KL} = \vec{u}$$

$$\overrightarrow{LM} = -\vec{v}$$

$$\overrightarrow{MH} = -(\vec{u} + \vec{v})$$

$$\overrightarrow{ON} = \frac{1}{2}(\vec{a} + \vec{b} + \vec{c}) \text{ とおくと}$$

$$\overrightarrow{NH} = -\vec{v}$$

$$\overrightarrow{NI} = -(\vec{u} + \vec{v})$$

$$\overrightarrow{NJ} = -\vec{u}$$

$$\overrightarrow{NK} = \vec{v}$$

$$\overrightarrow{NL} = \vec{u} + \vec{v}$$

$$\overrightarrow{NM} = \vec{u}$$

このとき

$$|\vec{u}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{a}|^2 - 2\vec{a}\cdot\vec{b} + |\vec{b}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

$$|\vec{v}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{c}|^2 - 2\vec{c}\cdot\vec{a} + |\vec{a}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

$$\vec{u} + \vec{v} = \frac{1}{2}(\vec{c} - \vec{b}) \text{ であるから}$$

$$|\vec{u} + \vec{v}|^2 = \frac{1}{4}(|\vec{c}|^2 - 2\vec{b}\cdot\vec{c} + |\vec{b}|^2) = \frac{1}{2}(1 - \cos\theta)$$

HI, IJ, JK, KL, LM, MH および NH, NI, NJ, NK, NL, NM は等しいので, 多角形 HIJKLM は正六角形である.